

ご挨拶

岐阜県立大垣南高等学校のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

本校は、昭和24年に開校し、今年で創立76年目となる歴史と伝統のある高等学校です。今年度は新入生241名を迎えて全校生徒711名が在学しています。開校当初から建学の精神「堅実真摯」を掲げ、生徒一人ひとりの「知・徳・体」の調和のとれた人格形成を目指し、豊かな人間性と健全な心身を育み、自らの可能性を追求し地域社会に貢献できる生徒の育成を教育目標とし、日々の学習や校内諸活動に勤しんでいます。これまでに25,000名以上の卒業生がこの学び舎を巣立ち、地元の西濃地域はもとより国内外における様々な分野で活躍しておられます。

世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症も日本では昨年5月に感染症分類が引き下げられてここ数年の感染拡大防止による様々な制約が解かれる中で、私たちの生活もコロナ禍で失われた習慣や様式を取り戻すべく、少しずつですが落ち着きを取り戻してきています。その一方で、人工知能AIを代表とする産業界などでのDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による生活環境の変化はすさまじく、我々も社会生活の情報化やグローバル化の急激な進展に追いつくことさえもままならず、かたや各国のイデオロギーの違いによる対立や紛争も依然として鎮まる気配はなく、それらが世界経済へ大きな打撃を与えて世界的な物価高騰や歴史的円安の長期化を招くなど、今も世界は混沌とした世相であるとも言えます。

そのような時代にあって本校は、生徒達にコロナ前のような自由に活動できる時間や空間を提供し、生徒が主体となって活気ある日常生活が送れるよう支援していきます。毎日の授業や部活動はもちろん、各種行事などにおいても地域や各種団体からのご支援を賜りながら、ICT機器の活用や地域課題探究等を実践し、主体的で対話的な学びを実現する学習を通して、じっくりと考える習慣や確かな学力を身に付けさせ、仲間との触れ合いを大切に、協働してアイデアや解決策を生み出す想像力や協調性を養ってまいります。そして今年度も引き続き、本校のスクールポリシーの中にもある生徒ひとり一人がどこかの場面で「自己効力感（自分ではできると信じられる力）」を感じて、自信と夢を持ってこれからの時代を生き抜いていける生徒を育てていく所存です。生徒達がこれからの人生において、自分の置かれた立場を自覚し、取り組むべき課題を正しく認識して、その解決に向けて前向きに取り組めるような生きる力や人間的素養を高めます。これらは開校以来本校が積み重ねてきた着実な教育による実践で培われるものと信じておりますし、学校を取り巻く環境がこれらかも大きく変化していく中で、地域からお寄せいただける本校への期待や社会的な役割をしっかりと考えながら今後も教育活動を展開してまいります。

このホームページをご覧いただいた皆様に、さらなる本校教育へのご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

岐阜県立大垣南高等学校
校長 川瀬 英樹